

平成25年度 法人内研修予定表

社会福祉法人幸清会・大滝福祉会

開催日	研修名 / 研修のねらい	対象者	会場	研修項目 / 内容
4月8日～13日	<p><b>平成25年度入社職員研修</b></p> <p>社会福祉法人幸清会並びに大滝福祉会に所属する一職員として、法人の理念を理解し、介護スタッフとして必要な知識・技術を学習しながら、専門職として「知ること」「気づくこと」が大切さを理解します。また、法人内の他事業所同士の同期のスタッフとの交流を深め、仲間づくりの機会に役立てます。</p>	平成25年入社 新人職員	高齢者ケア研修センター 財田の杜	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修のねらい 研修の目的と目標を示し、カリキュラムを理解し、研修の方向性を明確にする。加えて研修の機会を、情報交換、ネットワーク作りの場に活用することを促す。</li> </ul>
				<ul style="list-style-type: none"> <li>・法人の沿革と職員として求められること 社会福祉法人幸清会並びに大滝福祉会について、所属する一職員として理解を深める。</li> </ul>
				<ul style="list-style-type: none"> <li>・法人理念と方針 法人の理念について、その必要性と重要性を理解し、理念の実現に向けて取り組む姿勢を養う。</li> </ul>
				<ul style="list-style-type: none"> <li>・マナーについて 社会人として最低限必要な心構えと、介護職員に求められる接遇について理解し、対家族、対職員への信頼関係を築くための適切なマナーを身に付ける。</li> </ul>
				<ul style="list-style-type: none"> <li>・権利擁護について 高齢者虐待防止法の他に、高齢者の権利を擁護に必要な視点を法的な側面を含めて理解する。</li> </ul>
				<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者の心身の理解に起こりやすい症状 高齢者に起こりやすい症状について学ぶとともに、緊急時の対応について考える。</li> </ul>
				<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者に起こりやすい症状と感染症の理解 高齢者に起こりやすい症状について学ぶとともに、事業所として求められている感染症予防対策と、感染症についての基礎知識を身につける。</li> </ul>
				<ul style="list-style-type: none"> <li>・認知症についての理解 認知症介護の歴史的経過と現在の方向性を把握し、認知症の人の生活のしにくさを捉え、介護の目的、権利擁護、介護することと自立支援の関係について理解を深める。</li> </ul>
				<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者とのコミュニケーション 対人援助の基礎として必要になるコミュニケーションの重要性を理解し、コミュニケーションの基礎的な技法を知り、体験する。</li> </ul>
				<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会福祉と介護保険の理解 介護保険制度の目的と仕組みについて理解することにより、各事業所の役割を認識する。</li> </ul>
				<p>介護技術 [福祉用具]</p> <p>福祉用具の知識と正しい取扱い方法について学ぶこととし、間違った使用方法が利用者の苦痛に繋がる場合もあることを理解する。</p>
				<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護技術 [移動・動作] 利用者の移乗や移動、生活場面での動きに係る介護技術について学ぶ。</li> </ul>
				<ul style="list-style-type: none"> <li>・普通救命講習 西胆振消防組合洞爺湖消防署により救命に係る知識と技術を修得する。火災等の災害を予防する対策について学ぶ。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護技術 - [食事・排泄] 食事、排泄、入浴について、介護福祉士取得者と未取得者のグループに分かれて学習する。</li> </ul>				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護技術 - [入浴・その他] 入浴、その他の生活場面について、介護福祉士取得者と未取得者のグループに分かれて学習する。</li> </ul>				

平成25年度 法人内研修予定表

開催日	研修名 / 研修のねらい	対象者	会場	研修項目 / 内容
4月8日～13日	<b>平成25年度入社職員研修</b>	平成25年入社 新人職員	高齢者ケア研修センター 財田の杜	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活の流れに沿うケア 施設は、高齢者が生活する場であることを認識し、よりよいケア環境を学ぶ。ユニットケアのあり方についても学ぶ。</li> <li>・サービス展開のためのリスクマネジメント 介護職員として、日常生活場面で生じうる高齢者の抱えるリスクを理解し、介護を展開する際に、リスクマネジメントを具体的に展開していく技能を身につける。</li> <li>・高齢者の食事と栄養管理について 高齢者の適切な栄養管理と栄養ケアマネジメントの実際を学ぶ。</li> <li>・口腔ケアについて 高齢者の口腔ケアについて正しく基礎知識を学び、実践できるようにする。</li> <li>・コンプライアンス及び法人諸規定の説明 法人職員として、各種法令及び社内規程並びに社会的ルール等について理解する。</li> <li>・メンタルヘルスについて 組織内の対人関係と介護の質を維持向上させるため、職員のメンタルヘルスやストレスマネジメントの内容と方法を理解し、実践できる技能を身につける。</li> <li>・記録等各書式の意義と書き方 ケア記録やケアプラン、ヒヤリハット報告など日常のケアの中で必要とされる基本の書式について確認し、なぜその書式が必要かその意義を確認するとともに、記録等についての基本を学ぶ。</li> </ul>
4月26日	<b>メンタルヘルス 管理者研修</b> 法人全体のメンタルヘルスケア、臨床心理士による心理臨床活動等について考えます。 また、いきいきとした職場づくりや、より良いサービス提供のための心理士との連携についても意見交換を行い、各事業所が抱える課題や、法人としての取り組みについて検討することを目的とします。	事業所管理者	特別養護老人ホーム おおたきの杜	<ul style="list-style-type: none"> <li>・法人における心理臨床活動 当法人における心理臨床活動について振り返り、平成25年度心の健康づくりについて考える。</li> <li>・事例検討 事例を用いて、心理士の役割や連携について考える。</li> </ul>
5月27日	<b>介護請求事務担当者研修</b> 介護請求事務担当者として適切な介護請求を行うにあたり必要な知識を学ぶとともに、今までの誤請求・返戻事例を検証し、課題解決にむけての同種事業所間での情報の共有により適切な運営を図られることを目的としています。	介護請求事務担当者	高齢者ケア研修センター 財田の杜	<ul style="list-style-type: none"> <li>・適切な介護請求について <ul style="list-style-type: none"> <li>・過誤請求事例</li> <li>・加算チェック</li> </ul> </li> <li>・事例検討 <ul style="list-style-type: none"> <li>・請求の流れとチェック体制</li> <li>・質疑応答</li> </ul> </li> </ul>
5月28日	<b>メンタルヘルス ライン研修</b> 法人全体のメンタルヘルスケア、臨床心理士による心理臨床活動等について考えます。 また、いきいきとした職場づくりや、より良いサービス提供のための心理士との連携についても意見交換を行い、各事業所が抱える課題や、法人としての取り組みについて検討することを目的とします。	生活相談員、 ケアマネージャー	ふる里の丘総合福祉館	<ul style="list-style-type: none"> <li>・法人における心理臨床活動 当法人における心理臨床活動について振り返り、平成25年度心の健康づくりについて考える。</li> <li>・事例検討 事例を用いて、心理士の役割や連携について考える。</li> </ul>

平成25年度 法人内研修予定表

社会福祉法人幸清会・大滝福祉会

開催日	研修名 / 研修のねらい	対象者	会場	研修項目 / 内容
6月10日～11日	<b>平成24年度入社職員フォローアップ研修</b> 法人の理念を踏まえた上で、介護スタッフとして必要な知識を学習しながら、専門職として「知ること」「気づくこと」が大切であることを理解します。そして、自ら学ぶ機会を得ようとするスタッフの育成をねらいとしています。また、法人内の他事業所同士の同期のスタッフとの交流を深め、仲間づくりの機会に役立ててください。	平成24年入社 新人職員	高齢者ケア研修センター 財田の杜	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニケーションとチームワーク 参加者全体で会場等の清掃を行い、コミュニケーションとチームワークのあり方について学びます。</li> <li>・利用者や家族への対応 職員として求められる言葉遣いや対応など利用者や家族と良好な関係を築き、信頼を得ていくためのマナーの基本や要望や苦情への対応について学びます。</li> <li>・認知症の理解 認知症について、症状と疾患の関係や中核症状への対応などについて学びます。</li> <li>・認知症の人の権利擁護 認知症の人の権利とは何かを理解し、権利を擁護する制度等を確認し、実践者としての基本姿勢を学びます。</li> </ul>
7月3日～4日	<b>平成25年度入社職員フォローアップ研修</b> 法人の理念を踏まえた上で、介護スタッフとして必要な知識を学習しながら、専門職として「知ること」「気づくこと」が大切であることを理解します。そして、自ら学ぶ機会を得ようとするスタッフの育成をねらいとしています。また、法人内の他事業所同士の同期のスタッフとの交流を深め、仲間づくりの機会に役立ててください。	平成25年入社 新人職員	高齢者ケア研修センター 財田の杜	<ul style="list-style-type: none"> <li>・採用後を振り返って 参加者全体で会場等の清掃を行い、コミュニケーションとチームワークのあり方について学ぶ。新人研修を終了した後の、約3ヶ月を振り返り、職員としての心構えや今後の過ごし方について改めて考える機会を持つ。</li> <li>・リスクマネジメント～ヒヤリハットと事故報告～ 法人スタッフとして、ヒヤリハットと事故報告書の意義と使い分けについて学び、日常の業務に生かすと共にリスクを意識したケアにつなげることを目指す。</li> <li>・高齢者虐待防止について考える 高齢者虐待や不適切なケアの問題への対策の基本は、背景となる要因を分析し、組織的な取組を行い、その中で職員個々が必要な役割を果たすことです。高齢者虐待に関する基礎知識を学び、虐待防止に必要な役割を担うための視点について考えます。</li> <li>・課題解決 新社会人として、また新人職員として3ヶ月経過後で直面している仕事上の悩みや不安、要望についてどう話し、どう考えていくべきかについて先輩職員の経験から学ぶ。</li> </ul>
7月11日	<b>セクハラ・パワハラ研修</b> 当法人では、セクシャルハラスメント及びパワーハラスメントの防止に積極的に取り組んでおり、各事業所に担当者がいます。この研修では、窓口担当者として必要な対応を行うための知識を学び、実際に窓口担当者として機能できるよう意識付けを行うことを目的としています。	セクハラ・パワハラ 相談窓口担当者	高齢者ケア研修センター 大原の杜	<ul style="list-style-type: none"> <li>・セクシャルハラスメント・パワーハラスメントについて 厚生労働省及び法人の指針をもとに、改めてセクシャルハラスメント、パワーハラスメントについての理解を深め、具体的な対応についても確認をする。</li> <li>・事例検討 事例を用いて、検討を行います。</li> </ul>
7月22日	<b>メンタルヘルス ライン研修</b> 法人全体のメンタルヘルスケア、臨床心理士による心理臨床活動等について考えます。また、いきいきとした職場づくりや、より良いサービス提供のための心理士との連携についても意見交換を行い、各事業所が抱える課題や、法人としての取り組みについて検討することを目的とします。	介護主任	特別養護老人ホーム 幸豊園	<ul style="list-style-type: none"> <li>・法人における心理臨床活動 当法人における心理臨床活動について振り返り、平成25年度心の健康づくりについて考える。</li> <li>・事例検討 事例を用いて、心理士の役割や連携について考える。</li> </ul>

平成25年度 法人内研修予定表

社会福祉法人幸清会・大滝福祉会

開催日	研修名 / 研修のねらい	対象者	会場	研修項目 / 内容
7月25日	<b>メンタルヘルス セルフ研修</b> 法人全体のメンタルヘルスケア、臨床心理士による心理臨床活動等について考えます。 また、いきいきとした職場づくりや、より良いサービス提供のための心理士との連携についても意見交換を行い、各事業所が抱える課題や、法人としての取り組みについて検討することを目的とします。	全職員	高齢者ケア研修センター 財田の杜	・法人における心理臨床活動 当法人における心理臨床活動について振り返り、平成25年度心の健康づくりについて考える。 ・事例検討 事例を用いて、心理士の役割や連携について考える。
7月3日～4日	<b>平成25年度入社職員フォローアップ研修</b> 法人の理念を踏まえた上で、介護スタッフとして必要な知識を学習しながら、専門職として「知ること」「気づくこと」が大切であることを理解します。そして、自ら学ぶ機会を得ようとするスタッフの育成をねらいとしています。また、法人内の他事業所同士の同期のスタッフとの交流を深め、仲間づくりの機会に役立ててください。	平成25年入社 新人職員	高齢者ケア研修センター 財田の杜	・採用後を振り返って 参加者全体で会場等の清掃を行い、コミュニケーションとチームワークのあり方について学ぶ。新人研修を終了した後の、約3ヶ月を振り返り、職員としての心構えや今後の過ごし方について改めて考える機会を持つ。 ・リスクマネジメント ～ヒヤリハットと事故報告～ 法人スタッフとして、ヒヤリハットと事故報告書の意義と使い分けについて学び、日常の業務に生かすと共にリスクを意識したケアにつなげることを目指す。 ・高齢者虐待防止について考える 高齢者虐待や不適切なケアの問題への対策の基本は、背景となる要因を分析し、組織的な取組を行い、その中で職員個々人が必要な役割を果たすことです。高齢者虐待に関する基礎知識を学び、虐待防止に必要な役割を担うための視点について考えます。 ・課題解決 新社会人として、また新人職員として3ヶ月経過後で直面している仕事上の悩みや不安、要望についてどう話し、どう考えていくべきかについて先輩職員の経験から学ぶ。
8月1日	<b>メンタルヘルス セルフ研修</b> 法人全体のメンタルヘルスケア、臨床心理士による心理臨床活動等について考えます。 また、いきいきとした職場づくりや、より良いサービス提供のための心理士との連携についても意見交換を行い、各事業所が抱える課題や、法人としての取り組みについて検討することを目的とします。	全職員	特別養護老人ホーム 幸豊園	・法人における心理臨床活動 当法人における心理臨床活動について振り返り、平成25年度心の健康づくりについて考える。 ・事例検討 事例を用いて、心理士の役割や連携について考える。

平成25年度 法人内研修予定表

社会福祉法人幸清会・大滝福祉会

開催日	研修名 / 研修のねらい	対象者	会場	研修項目 / 内容
10月16日	<b>介護事業所専門職研修</b> 介護事業所において、様々なニーズに対応するためには多職種連携が必要不可欠です。本研修では、業務遂行にあたり、日常的な行動の規範として専門職者に求められている態度である多職種連携及び協働について学びます。	看護師、栄養士、機能訓練指導員	高齢者ケア研修センター 財田の杜	<ul style="list-style-type: none"> <li>法人理念と方針 法人の理念について、その必要性和重要性を再認識し、理念の実現に向けて各専門職としての役割について具体的に考える。</li> <li>認知症の理解と対応 認知症について、症状と疾患の関係や中核症状への対応などについて学びます。</li> <li>ユニットケアにおける多職種連携 その人らしさを支えるためにそれぞれの専門職からの視点で考え、どのように連携するべきかを考えます。</li> <li>職種別意見交換 事業所で積極的に取り組んでいることや業務の工夫、書式の比較検討など職種別で率直に意見交換できる機会とします。</li> </ul>
12月13日	<b>メンタルヘルス セルフ研修</b> 法人全体のメンタルヘルスケア、臨床心理士による心理臨床活動等について考えます。また、いきいきとした職場づくりや、より良いサービス提供のための心理士との連携についても意見交換を行い、各事業所が抱える課題や、法人としての取り組みについて検討することを目的とします。	全職員	特別養護老人ホーム みたらの杜	<ul style="list-style-type: none"> <li>法人における心理臨床活動 当法人における心理臨床活動について振り返り、平成25年度心の健康づくりについて考える。</li> <li>事例検討 事例を用いて、心理士の役割や連携について考える。</li> </ul>
1月29日	<b>事務職員研修</b> 法人の理念を日々実践していく上で、事務職員としてキャリアパスに位置づけられた必要な知識を学習し、日々の業務に活用していただくことを狙いとしています。また、法人内の他事業所スタッフとの交流も深め、日頃から情報交換ができる仲間づくりの機会に役立てることを目的とします。	事務職員	(福)幸清会本部 洞爺の杜	<ul style="list-style-type: none"> <li>介護保険制度の理解 介護保険制度を中心に学び、事務職員としての業務に役立てるとともに、法令遵守についての意識を高めます。</li> <li>コミュニケーションとチームワーク コミュニケーションとチームワークについて演習を通して学びます。研修で学びを共にする受講生同士が積極的に関わり、学びがより深まることを目指します。</li> <li>リスクマネジメントへの取り組みについて 日常業務中でのリスクを理解し、リスクマネジメントを具体的に展開していく為の手法を学びます。</li> <li>プレゼンテーションについて 事務職員の立場として業務改善や新たな提案をする際のプレゼンテーションの技法を学びます。</li> <li>日常の事務処理について 統一書式の取り扱い方法や、共済会の申請等について本部担当者より説明。又日常業務における事務処理や疑問について参加者同士での意見交換や情報交換を行う。</li> </ul>
3月2日	<b>メンタルヘルス ライン研修</b> 法人全体のメンタルヘルスケア、臨床心理士による心理臨床活動等について考えます。また、いきいきとした職場づくりや、より良いサービス提供のための心理士との連携についても意見交換を行い、各事業所が抱える課題や、法人としての取り組みについて検討することを目的とします。	在宅系事業所職員	老人保健施設 プライムヘルシータウン 湘南	<ul style="list-style-type: none"> <li>法人における心理臨床活動 当法人における心理臨床活動について振り返り、平成25年度心の健康づくりについて考える。</li> <li>事例検討 事例を用いて、心理士の役割や連携について考える。</li> </ul>